【本件リリース先】
12 月 15 日(火)　16:00
(資料配付)
福島県政記者クラブ、
いわき記者クラブ、いわき記者会、
茨城県政記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会、
原子力規制庁記者会(仮称)

平成 27 年 12 月 15 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

廃炉国際共同研究センター「国際共同研究棟」の立地場所について（お知らせ）

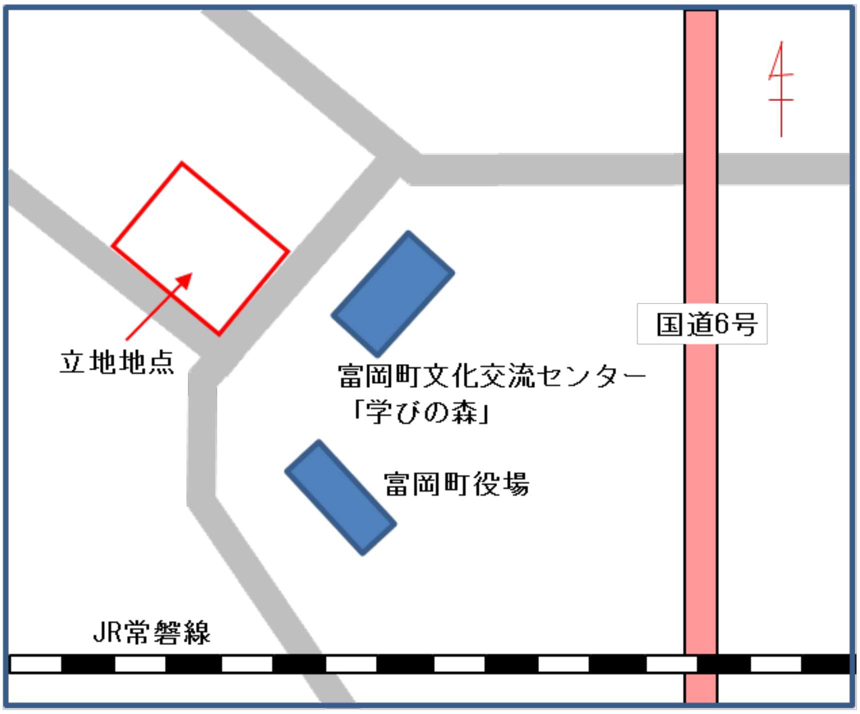
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（理事長：児玉敏雄）は、本年 8 月 27 日に文部科学省から「国際共同研究棟」を福島県富岡町王塚地区に整備することとし、同地区内に立地地点を決定し報告するよう指示を受けました。このため、富岡町と協議を行い、同町から提示を受けた大字本岡字王塚の約 1.2ha の場所に立地することを決定し、この度、文部科学省へ報告しましたので、お知らせします。

「国際共同研究棟」は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の安全な廃止措置等を推進するため、国内外の英知を結集する場として廃炉国際共同研究センターの中核を成すものです。今後、平成 29 年 3 月の竣工を目指し、建設工事に向けた準備を行ってまいります。

【本件に関する問合せ先】
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
(研究内容について)
福島研究開発部門廃炉国際共同研究センター
研究推進室長　木村　貴海
TEL:029-287-9684, FAX:029-282-6787
(報道担当)
東京）広報部報道課長　中野　裕範
TEL:03-3592-2346, FAX:03-5157-1950
福島）福島事業管理部次長　眞鍋　建史
TEL:024-524-1060, FAX:024-524-1073

１．立地地点について

土地の所在：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚
　　地番：789 番 1、790 番 1、790 番 2、790 番 6 （約 1.2ha）



２．国際共同研究棟の概要について

用途	：	研究施設
構造・規模	：	鉄骨造、地上２階建て
建築面積	：	約 1,100 ㎡
延床面積	：	約 2,100 ㎡
高さ	：	約 10m

国際共同研究棟のイメージ図

【参考資料】

廃止措置の推進について

廃炉国際共同研究センターの中核となる国際的な研究開発拠点「国際共同研究棟」を1F近傍に整備し、国内外の大学、研究機関、産業界等の人材が交流できるネットワークを形成しつつ、産学官による研究開発と人材育成を一体的に進める体制を構築して、廃止措置を推進します。

JAEA 福島研究開発部門

楢葉遠隔技術開発センター
（平成27年9月一部運用開始）
-遠隔操作機器開発等-

福島県楢葉町

活用

廃炉国際共同研究センター
-国内外の英知を結集する拠点-
国際共同研究棟
1F近傍、福島県富岡町 平成29年3月竣工予定

JAEA特有の核燃料・放射性物質の
使用施設、照射施設等の活用

活用

大熊分析・研究センター
（設計中：平成29年度~）
-放射性核種分析等-

福島県大熊町（1F敷地隣接）

『オフサイトから
オンサイトへ』

成果の適用

福島環境安全センター
環境動態・放射線モニタリング等の研究開発

※廃炉国際共同研究センターは
平成27年4月茨城県東海村へ設置

産学官との 連携・協力

【東京電力・IRID・NDF】

東京電力、
国際廃炉研究開発機構IRID、
原子力損害賠償・廃炉等支援機構NDF
との連携、協力

【国内外の大学・研究機関・産業界】

東京大学、東北大学、
東京工業大学等との連携講座
国際機関、米仏英国研究所等、民間
企業等との共同研究、情報交換

【環境省、福島県】

環境省
福島県環境創造センター
福島県ハイテクプラザ

図　廃止措置の推進について